

冷たい朝

深雪

赤い花は置き去りにされた

冷たい朝の

僕の心に

午前4時

夜明けの音がする

僕は目が覚めたことを隠している

部屋は

何事も無かったかのように

青い光に包まれている

海の中で回るメリーゴーランドのように

さつきまで見ていた夢が

きらびやかな光の残像を遺して

回り続けている

それは心地よい海の

確かなリズム

あなたの鼓動

僕はもう

忘れてしまった

大切なその人を

：僕は何でも忘れてしまう

いや忘れることができる

僕の心にある

赤い花の名前が

「愛」だということさえも